

会派行政視察報告書

会派行政視察における調査結果について、下記のとおり報告いたします。

平成31年3月15日

光市議会議長 西村憲治様

光市議会会派『こう志会』

代表 中本和行

議員 萬谷竹彦

議員 大田敏司



議員 林節子

会派に属さない議員 西村憲治
(議長)

記

- 1 視察年月日 平成31年1月23日～1月25日（2泊3日）
- 2 調査市等 東京都千代田区、東京都北区
- 3 調査結果 別紙のとおり

こう志会視察報告書

日時	平成31年1月23日(水) 14時30分～16時30分
調査市名	東京都千代田区
テーマ	区立図書館について
調査市人口・面積	63,454人 11.66km ²
区議会議員定数	25名 (3常任委員会)
概要	<p>千代田区立図書館は、教育・文化・社会生活の発展に向けて、基本的人権としての知る自由を保障するため、千代田区民及び昼間区民への基本的な行政サービスとして、図書館サービスを提供することを任務とします。そのため、区内の大学、書店、古書店、文化施設等関連機関とも連携し、図書館サービスの充実に不断に努めます。その基盤となる理念として、「図書館の自由に関する宣言」(日本図書館協会1979年総会議決)に定める、資料の収集と提供の自由、個人情報保護等を尊重し、実践します。との、図書館宣言のもと、運営されています。</p> <p>Q. レファレンスサービスの現状・課題・評価について教えてください。</p> <p>A. 2017年の受付件数は、所蔵調査2,822、事実調査1,844、レフェラル1,236で、年々増加傾向にあります。課題としては、人材育成とクレーム対応。クレームも年々増加傾向にあります。しかしながら、全体的には高評価を得ています。</p> <p>Q. 千代田WEB図書館について教えてください。</p> <p>A. 2018年3月より区の所管課が直接契約しています。著作権問題による電子書籍種類の脆弱さが、課題と言えます。今のところ、表立った問題は起きていません。</p> <p>Q. ナクソミュージックライブラリについて教えてください。</p> <p>A. 資料費におけるクラシックのCD購入費を削減すると共に、多くの楽曲(CD100,000枚分)を提供しようと始めました。2009年4月より配信開始。60分のタイムアウト設定もあり、アクセス集中による特定視聴者の独占といった問題は出ていません。最多アクセス時間帯は21時～23時。パソコンからのアクセスのみであるため、持っていない希望者は利用できないというデメリットがあるため、スマホ対応の契約形態を検討中です。大変、人気のあるサービスだと感じています。図書館に来館できない方々が自分の都合の良いときに利用ができ、図書館の新しいサービスの一つであると思っています。また、運用で手間がかからない点が秀逸です。</p>
	 

<p>所感</p>	<p>中本和行</p> <p>東京都千代田区立図書館について</p> <p>千代田区では、区民が4万8千人に対して、昼間人口は85万人となりビジネスのまちである。</p> <p>出版業者と地域産業の特性を生かしつつ図書運営を確実にやっている。</p> <p>図書館運営は、指定管理者が委託を受け、(株)ビバックスを代表として運営しより良いサービス提供しています。</p> <p>館内は、図書、雑誌他視聴覚も出来る。貸し出しは、公的な証明書があればどなたでも利用できます。</p> <p>区民の社交の場としての機能を持っている。コンシェルジュによる千代田区の案内他今までにないサービスの提供をしている。</p> <p>指定管理事業者に対してスタッフは、図書の経験、専門性、一般常識、対人や接客能力等業務の適性に配慮した。</p> <p>図書の労働力の確保と長期雇用し安定した職員の確保など休日には、利用者が多くコンシェルジュの方に館内をご案内いただき気持ちの良いおもてなしを受けて特色のある運営を行っていて大変勉強になりました。</p> <p>萬谷竹彦</p> <p>千代田区図書館は、千代田区役所本庁舎の9階、10階に位置しており、平日は10時～22時の開館時間で、色々な人が利用しているとの事です。</p> <p>調査研究ゾーン、一般開架ゾーン、そしてキッズゾーン等、区民に寄り添った図書館運営に驚かされました。</p> <p>また、指定管理者6社の専門分野を活かした業務分担を行っており、快適な空間を演出していました。その中で、法人向け出張サービス・レファレンスサービス・WEB図書館等の取り組みも行っており、先進的だと感じました。光市も図書館の充実を少しずつでも進めていかなければと思いました。</p> <p>大田敏司</p> <p>千代田区では、図書館の視察をしました。本棚を背の高さまでとされ、とても広い空間を感じさせておりました。</p> <p>また、6社共同による指定管理者により6社分担による管理をされており、図書館を利用される方々に便利にまた利用しやすさを体感してまいりました。</p> <p>林 節子</p> <p>今回の行政視察は千代田図書館、衆・参議員会館、東京都北区の防災について視察した。</p> <p>まず、千代田区の区立図書館は、区役所庁舎内9・10階にあり、5つの機能コンセプトのもと全ての年代やニーズに合うよう快適で創造性の高い空間を提供している。指定管理者6社の専門分野を生かした業務分担を行っている。(広報、企画、コンシェルジュ、維持管理</p>
-----------	---

など)

9階には、有線・無線LANが無料で接続でき、学習・研究だけではなくビジネスにも役立つ研究調査ゾーンや、中高生専用の学習ルーム、古書が展示してあるブースがある。

10階は、キッズゾーンになっており、授乳室やおむつ変えが出来るトイレが完備されている。託児サービスや、電子絵本も利用でき、本の読めない幼児にはうれしいサービスである。

西村憲治

- 1 コンシェルジュの方の説明が分かりやすい。
- 2 思わず手が伸びる本の配置が美しい
- 3 沢山の人が集まり易い図書館です。
- 4 何を目的としているかが大切
- 5 近隣企業のオフィスとして、ビジネスマンの利用が多い。(夜間人口6万人、昼間人口80万人)
- 6 指定管理料(日本図書館協会を中心に仕事分担)は、8.3億円/5館・年

日時／場所	平成31年1月24日（木） 9時00分～15時00分
	国会議員との意見交換・要望書提出
概要	<p>岸 信夫 衆議院議員（本人対応） 林 芳正 参議院議員（本人対応） 北村 経夫 参議院議員（秘書対応） 榊屋 敬悟 衆議院議員（秘書対応） 高村 正大 衆議院議員（秘書対応）</p> <p>安倍 晋三 衆議院議員（訪問） 河村 建夫 衆議院議員（訪問） 江島 潔 参議院議員（訪問）</p> <p>山口県、そして光市の課題を意見交換させて頂きました。 平成31年度 光市要望に関する要望書を提出させて頂きました。</p> <div data-bbox="774 1081 1393 1429" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="349 1532 1010 1917" data-label="Image"> </div>

日時	平成31年1月25日（金） 9時00分～11時00分
調査市名	東京都北区
テーマ	防災の取り組みについて
調査市人口・面積	351,989人 20.61km ²
区議会議員定数	40名（5常任委員会）

概要

東京都北区地域防災計画は、災害対策基本法（昭和36年法律第223号）の規定に基づき東京都北区防災会議が策定する計画です。北区災害対策本部、防災機関、その他諸機関が有する全機能を有効・適切に発揮し、また事業者、自主防災組織及び区民が総力を結集して、各主体の持てる能力を発揮し、主体間で連携を図ることにより、「自助」「共助」「公助」を実現し、区民の生命、身体及び財産を自然災害から保護することを目的としています。

Q. 防災行政無線について現状、課題を教えてください。

A. 防災行政無線は、災害情報や被害状況を提供する各手段の一つとして整備されています。現在、区内に110基配備。なお、放送内容は防災情報に限定しており、徘徊の行方不明者の捜索等には活用していません。自動電話対応サービスの提供をし、防災行政無線を補完しています。また、J:COM東京と連携を図り、ケーブルテレビを活用した情報提供を行っています。課題としては、人の耳による調査を行っていますが、やはり聞こえにくい個所への対応が挙げられます。

Q. 中学生防災学校について教えてください。

A. 災害時に地域の貴重な担い手となることが期待できる中学生を対象に、防災に関する基本的な知識・技術を習得する機会を設け、災害時に地域の一員として、また、将来的には地域の防災リーダーとして活動できるように、教育委員会と連携して学校教育の中で訓練等を実施しています。子どもの頃から防災の知識を知ってもらいたい意図があります。

Q. 北区防災ボランティアの今後の考え方について教えてください。

A. 北区防災ボランティアは、区に登録していますが、災害時には北区社会福祉協議会とNPO法人北区市民活動推進機構が開設する災害ボランティアセンターでボランティアの受け入れ等を担うため、区の制度を廃止し、この2団体が設ける登録制度へ移行の予定です。（平成31年度予定） 本年3月には、3団体協共同によるボランティアセンター立ち上げ訓練を予定し、臨場感ある体験をしていただきたいと思います。



○北区防災センターで模擬地震体験



○北区防災センター会議室で説明を聞く

所感	<p>中本和行</p> <p>北区 防災の取り組みについて</p> <p>東京都で最初に出来たこの施設は昭和59年にオープンして以来地域の防災普及啓発の役にも割を担って来た施設でした。</p> <p>展示ホールには、地震対策の学習・地震・煙・初期消火などの訓練・体験を実施しております。</p> <p>特に驚きの地震体験室は、和洋の部屋が激しく揺れる実際に体験出来る。</p> <p>本物を使った体験は大切です。</p> <p>国の防災モデル事業として防災公園と消防署・警察・病院が周囲にあり災害の拠点としての施設です。</p> <p>又、教育委員会が実施する親子防災体験に協力し、保護者とともに児童と防災体験を実施している。</p> <p>学校に出向いて防災の基本、知識、技術を拾得するために行っていることは我が街にも是非取り入れたい事業である。</p> <p>萬谷竹彦</p> <p>北区においては、高齢化率が東京都の中では比較的高く、地震や荒川・石神井川の洪水等が想定されています。</p> <p>防災無線については、光市と同様な課題があり、聞こえにくい地域への対応が挙げられていました。今回の視察で特に関心があったこととして、中学生防災学校の取り組みがあります。教育委員会と連携し、学校教育の中で訓練を実施し、子どもの頃からの意識付けを行っている取り組みであり、非常に有効的であると感じました。</p> <p>また、NTTタウンページ㈱と共同開発し、NTT防災タウンページアプリに北区版を設け、運用を開始しているとの事で、区民が災害情報を取りにいくときに選択肢が多く、こちらも有効だと思いました。光市も様々な取り組みを模索し、市民の安心安全を提供しなければと思いました。</p> <p>大田敏司</p> <p>北区では防災センターを視察し、実際の地震体感7を体感してまいりました、想像以上の揺れを体感してまいりました。また、要支援者の名簿を市民の皆様の了解を得て作成をされ、管理をされておられ、管理の難しさを感じました。</p> <p>毎年、防災教室も頻繁に実施をされ、避難の方法など、広く市民の皆さんに対する勉強会を設けられており、防災に対して、真剣に取り組まれておりました。</p> <p>光市の防災に対して、想像以上をそうていした防災を考慮したうえでしっかりと取り組んでいかなければと思いました。</p>
----	---

林 節子

北区防災センターは、地震が起きた際の家の中の危険やライフラインなどが分かる展示ホールや、パソコンを使ったデジタルステーション、実際の揺れが体験、煙体験、心肺蘇生、緊急救護、消化器、ロープワークなどがある。災害時には機能できるよう対策本部のバックアップ施設になっている。体験コーナーで地震体験を体感したが、震度4は行動出来る状態では無く、震度7は動くことも物を持つことも出来ず、ただ地面にうずくまるだけの状態である。

次に「中学生における防災学校」だが、防災に関する基本的な知識・技術を習得する機会を設け災害時に対応し活動出来るようにしていく事業である。3時間程度の講義や訓練実習を経験する。

災害発生時の対応を学習し行動に移せる事は大事である。特に北区は23区の中でも高齢化率が24.93%と一番高い。高齢化はこれからも進み、若い担い手が必要とされるが、知識があれば救える命も増えるので、地域に沿った知識・経験は（避難・誘導など）は必須である。

西村憲治

- 1 阪神大震災を題材に室内外の被害模型が生々しい。
- 2 災害タウンページは区界付近に問題あり。
- 3 要援護者の名簿作りは難しい、困難。市民が協力していただけない
- 4 自分の身は自分で守る意識の改革が必要
- 5 行政支援の対策範囲・対象者の絞り込みが難しい。